



静まり返った道場で弓を引く高校生たち

「義仲弓道」鍛錬の成果競う

個人・団体に高校生ら121人

木曾

を競った。静まり返った道場内は独特の緊張感に包まれ、聞こえるのは的を射抜く音と、発せられる「よし」の掛け声だけだった。

浦亜美さん(17)は、弓道の魅力に「仲間と

の一体感と、的に当たった時の快感」を挙げた。競技に向けて「皆で2本以上は当てたい」と意気込み、卒業後も弓道を続けるつもりだと話していた。

(山本政吾)

木曾町日義の德音寺境内にある弓道場でこのほど、36回目の木曾義仲弓道大会が開かれた。県内から高校の部に14校・62人、一般の部に59人が参加し、弓の弦を引き絞った。一人8本ずつ矢を放ち、団体と個人で成績

蘇南高校3年生の西